

見える化プロジェクト

「名前」(ネーム) + 思いやり

2019.01.09

No.47

校長 渡邊 幸二

一昨日の職員会議の中で、浜田小「見える化プロジェクト」を発表しました。発表したと言っても、前回の会議(反省職員会議)の中で、みなさまからアイデアとして出されたことを、ただ文字に表しただけですけど…。

〇見える化プロジェクト

・名前の見える化

ネームプレート改革 & 全校児童・地域の方の名前を覚える、名前を読んで挨拶する

写真のように、大きめの字で、しかもひらがなで名前が書いてあるので、これならきっと低学年の子どもたちも「〇〇さん!」と名前を呼びやすくなったと思います。人間は「出力」しないとなかなか覚えられないようですから、こうやって名前を呼び合ううちに、きっと全校児童の名前も覚えていくのでしょうか。楽しみです。先生方もがんばって覚えてくださいね。



思いやりの見える化

昨日の始業式は、反省職員会議でのリクエストに応え、「なぜ『さん・君』を付けるのか?」についてお話させていただきました。20～30分はかかるだろうなと思ってはいたのですが、45分間みっちりしゃべってしまったみたいでした。子どもたち、お尻痛くなったでしょうね。

今、本校では協働的な学び、互惠的な学びなど「**学びの共同体**」をメソッドとした学校研究を推進しています。一昨日の研修でもお気づきのように、そういう授業には「**対話**」は欠かせません。わかっている子どもがわからない子どもに教えるような、上下関係の授業ではない、互いに心を開いてわからなさを共有したり、分かり合えた喜びを感じたりする授業です。**対等な立場での意見の交流**が絶対に必要になります。「あいつは頭が良いからなあ…」とか「あの子は勉強が苦手だしね～」っというような、色眼鏡で見ている人間関係の中では絶対に**「対話」は実現しません**。

…対話的授業は、できる子／できない子、正解か／間違いか、常識にかなっているか／否か、という序列付けした視点とは違う多様な立場での話し合いを自由に進めることができます。そういう、自由でのびのびして雰囲気は、子どもたちを解放的にするでしょう。(「**対話する社会へ**」より抜粋)

てるおかいっこ
と、暉峻淑子氏が述べているように、我々の授業、我々の教室、我々の学校にはそういう**対等な立場を創り出す必要**があります。子どもの社会の中では、鈴木芽留さんが言った通り、常にそういう状況を創り出すのは難しいでしょう。しかし、浜田小学校で暮らす限りは、それに全力で取り組むことは可能だとも答えてくれました。**子ども同士が「さん・君」をつけて呼び合う中で、対等な立場を意識できるようになると**考えています。

子どもたちが「さん・君」をつけて呼び合うようになると、おそらく感情的になって暴

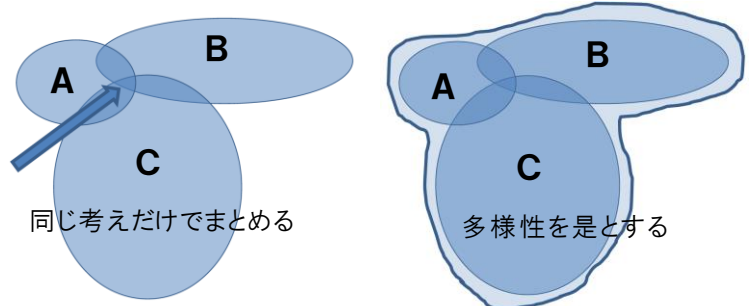
力をふるうとかけんかになるといった、浜田っ子に案外見られる本能のままの言動は、少しずつ減っていくと思います。この「さん・君」付けが「相手を尊重する」「思いやる」という心の現われだからです。思いやりを見える化するための手段と言えます。

多様性の重視

これからの時代を語るときに「多様性(ダイバーシティ)」ということがよく言われます。これまでの日本は1民族しか生活しない世界でしたが、今後はますます多民族化していくことでしょう。実際お隣の鶴岡市には、さまざまな国から研究者たちが押し寄せています。そんな時代を生き抜く子どもたちも、当然この多様性という土壌があった方がいいでしょう。

さまざまな角度から物事を考えたりアイデアを出したりするには、人と同じことをやっていると埒が明きません。そのことは尊敬する富田勝氏もよく口にされていました。下の図を見てもらうとわかるように、同じ考えだけで物事をやろうとすると、A・B・C共通のところは本当にごく限られた部分となってしまいます。しかし、多様な発想を大切にするスタンスであれば、A・B・Cすべてが網羅される範囲で思考・実行することができます。どちらがこれからの先の見えない時代を生き抜くかは、私には自明だと感じるのです。

授業を行っていく際にも、正答だけを扱っているような授業にたまに出くわすことがあります。子どもたちには多様な見方・考え方の大切さを伝えられるような指導をお願いいたします。



名前の見える化プロジェクト2

お世話になっている地域の方の名前も知らずに登校している子どもたちがたくさんいます。実は我々教員でも、名前をうる覚えという者もおります。それでは大変失礼だと、生活指導部が中心となって動き始めています。とても大事なことです。

今朝の登校の様子を見ながら、交通指導員さんなどの顔写真を撮らせていただきました。子どもたちには、

「〇〇さん、おはようございます」

と、名前をお呼びしながらのあいさつができるようなクラスのクラスでも必ずご指導ください。

(右の写真等は校長共有に入れておきます)

